

あ お ば

ありがとう おかげさまで ばんじおっけー

青葉校区自治協議会だより

令和7年 11月25日 第18号

発行元 青葉校区自治協議会事務局

青葉公民館内 Tel 092-691-1237

青葉校区『防災訓練』の取り組みについて

青葉校区自治協議会 会長 脇本 尚二

11月9日（日）青葉小学校体育館において、激甚災害時を想定した防災訓練を行ないました。6/22に実施した避難所開設訓練同様、参加者へ当事者意識をもっていただけるような実践的な訓練を目指しました。今回は、自治協議会事務局や公民館職員、各自治会長、各種団体の会長、各自治会、そして指導者として東消防署、多々良消防分団、博多あんあんリーダー会の防災士の皆さんが参加しました。（総数130名）

午前9時30分 小学校体育館に集合

参加者は受付順にグループ分けをして、簡易トイレや仮設テント・段ボール間仕切りなどを製作しました。先発隊として自治協や自治会の30名ほどは9時前から避難所開設に取り組んでいました。



午前9時40分 開会・挨拶、訓練内容の説明

自治協の会長挨拶では訓練の意義、事業部長から訓練内容の説明を行ないました。4つの体験ブース（①AED・心肺蘇生法 ②救急搬送 ③災害時トイレ ④非常時持出品・重量体験）そして、最後に訓練の総括をすることを確認しました。

午前9時55分 4つの体験ブースの訓練開始

①AED・心肺蘇生法・・・AED機器の説明や取り扱い方の説明、実践



まず消防士のAEDや心肺蘇生法の説明。

AED機器が指示するように作業すればよいのですが、冷静に対応するのはなかなか難しいことです。

とりわけ心肺蘇生法での胸骨を押す作業は、消防士から「もう少し強く押してください！」とアドバイスを受けながら取り組みます。相手の状態や意識を確認しながらの作業になるので、やはり体験することは大事です。

②救急搬送法・・・非常時に倒れた人や意識のない人をどのように運ぶか

消防士のお手本と説明を聞きながら体験。倒れた人の意識確認をしながら体験活動に取り組みます。仰向けになった人を動かす時にも、コツがあることがわかりました。また、毛布など家の中にある身近な物で、簡易担架を作って運ぶことにも取り組みました。参加者同士の頑張りに、思わずねぎらいや温かい拍手や歓声があがっていました。